

# ボクシング

専門委員長 高木 幸司



ボクシング競技は昨年コロナで全競技が中止となったが今年度より感染対策を行い大会が行われた。

県総体団体戦で吉野川が7連覇を果たし優勝する大会でした。

3月にはコロナ禍の中ボクシング競技として初の全国大会である選抜大会が徳島で徳島特別大会として開催された。

徳島県からは吉野川高校から4人出場し4人がメダルを獲得するという快挙を成し遂げた。

ピン級女子の西條は徳島県初の女子選手でデビュー戦

## ◎令和2年度第32回全国高校選抜大会（徳島特別大会） 令3.3.22～26

於 とくぎんトモニアリーナ（徳島市立体育館）

### 【女子】

#### <ピン級>

##### 決勝

西條 琳風 (徳島) 判定負け 佐藤 七海 (東北)

### 【男子】

#### <ピン級>

##### 1回戦

柏木 太郎 (徳島) 判定勝ち 谷 昇蔵 (四国)

##### 準決勝

柏木 太郎 (徳島) 2R 1' 55" rsc勝ち 大坊 翔吾 (東北)

##### 決勝

柏木 太郎 (徳島) 判定負け 国川 透也 (関西)

#### <ライトフライ級>

##### 1回戦

尾崎 優介 (徳島) 判定勝ち 高木 丈 (北信越)

##### 準決勝

尾崎 優介 (徳島) 判定負け 俣野 琉樹 (関西)

#### <バンタム級>

##### 1回戦

松本 賢勇 (徳島) 判定勝ち 岡山 風雅 (関西)

##### 準決勝

松本 賢勇 (徳島) 判定負け 藤田 大夢 (東北)

がいきなりの決勝戦となったが堂々とした戦いぶりで惜しくも判定負け、ピン級男子柏木は決勝戦で勝利したかに思えたが惜しくも惜敗、ライトフライ級尾崎、バンタム級松本も持っている力以上の力を発揮し銅メダルを獲得しました。

この大会を通じて徳島県のボクシングが普及発展に繋がればと考える。

またこの勢いでインターハイ優勝を狙っていたが柏木のベスト8で終わってしまった。この悔しさは来年の四国インターハイで優勝して雪辱したいと考えている。

コロナ禍の中で感染対策をしながらの大会運営であるが選手のためにも大会や合宿、遠征を続けていきたいと考えていますので、今後とも皆様のご指導並びにご支援を、よろしくお願いいたします。

## ◎第61回県高校総体 令3.6.5

於 吉野川高校ボクシング場

### 【個人の部】

#### <ピン級>

1 柏木 太郎 (吉野) 認定優勝 柏木 太郎 (吉野)

#### <ライトフライ級>

1 尾崎 優介 (吉野) ① WP 3-0 尾崎 優介 (吉野)  
2 宮本 健汰 (吉野)

#### <バンタム級>

1 松本 賢勇 (吉野) ① RSC 1' 15" 松本 賢勇 (吉野)  
2 近久 大和 (松高)

#### <ライト級>

1 工藤 拳心郎 (科 技) 認定優勝 工藤 拳心郎 (科 技)

#### <優秀選手> 松本 賢勇 (吉野)

### 【学校対抗の部】

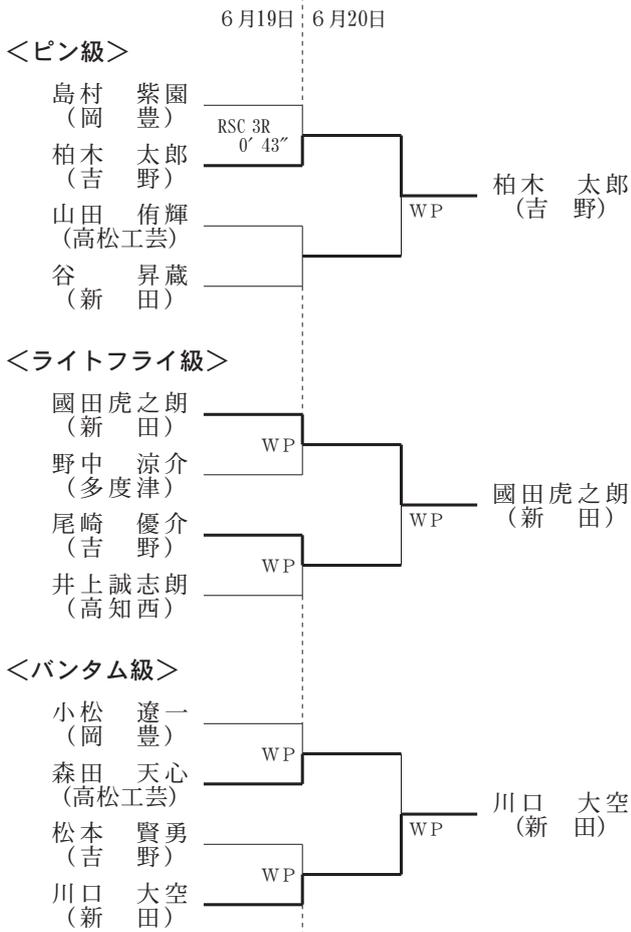
学校名	階級									合計	順位
	P	LF	F	B	L	LW	W	M			
1 徳島科技					5					5	2
2 吉野川	5	9		6						20	1
3 小松島				3						3	3

\*勝ち点：1点、1位：5点、2位：3点、3位：1点とする。

\*2位～4位は、競技規則による。

#### <団体優勝> 吉野川高校

◎第27回四国高等学校選手権 令3.6.19・20  
於 香川県 高松工芸高校



◎全国高校総体 令3.8.7~13  
於 福井県営体育館



【学校対抗の部】

学校名	階級										合計	順位
	P	LF	F	B	L	LW	W	M				
徳島 吉野川	7	4	0								11	3

\*第1位：5点、第2位：3点、第3位：1点、勝点：1点とする。

◎第26回徳島県高校新人大会 令3.11.20  
於 吉野川高校ボクシング場

◎第14回四国高校新人大会 令3.12.25・26  
於 愛媛県 松山工業高校